

## 意見交換会報告書

意見交換会の議題	子育てしやすい住みよいまちとは
意見交換会の相手先 (団体名等)	中央大学学生
参加人数	21名
開催日時	平成30年2月6日(火) 午前10時00分～午後0時00分
開催場所	文化創造拠点シリウス
担当議員	座長：青木正始 町田零二 記録者：古木邦明 金原忠博 国兼久子 出席者：堀口香奈 木村賢一
要点等	別紙のとおり (文教市民経済常任委員会と合同開催)

大和市議会議長様

平成30年5月1日

大和市議会意見交換会実施要領第8条の規定により提出します。

意見交換会座長 青木正始

## 厚生常任委員会 意見交換会報告

1、日時 平成30年2月6日(火) 午前10時～12時

2、場所 文化創造拠点シリウス 2階

3、内容 中央大学の学生との意見交換会

テーマ「子育てしやすい住みよいまちとは」

①安心して出産、子育てができる環境とはどんなもの？

- ・地域全体で、子供の健全な成長を支えられる社会
- ・国のしっかりした社会保障制度があること
- ・経済的支援（第2子には200万円、第3子には、500万円

を国から支給する)

- ・妊娠期からの切れ目のない支援
- ・子供の将来への明るい展望がある
- ・子どもを産んでも働き続けられる
- ・同世代や同じ環境の方々との意見交換ができる

②親が子育てに喜びを感じ、子育てへの不安感を和らげるために必要なことはどんなこと？

- ・集いの広場等、地域における子育て支援拠点の充実
- ・地域全体で登下校時の見守りや声掛けを行う
- ・家庭相談員の能力向上と相談機能の充実

- ・子どもの成長に合わせた食育の実施
- ・親子が集う広場に、子育てアドバイザーがいて欲しい
- ・子育て中の母親が、孤独にならないようにすること

### ③幼児期の教育・保育に求められる環境とはどんなものか？

- ・保育整備と保育教育に掛かる給付
- ・保育教育における人材確保及び質の向上

### ④子どもの安全・安心な居場所、のびのびと遊ぶことができる場所とは どんなところ？

- ・放課後子ども教室の拡大
- ・公園でのボール遊びができる場所の充実
- ・地域と子どもとの交流の場、催しの実施

### ⑤配慮を必要とする子ども・家庭への支援体制とはどんなものか？

- ・子どもの貧困対策の推進
- ・医療的ケア児の支援充実
- ・特別支援に対し、教育ヘルパー、スクールアシスタントの充実
- ・発達不安のある子どもと、その家族に相談、指導の充実
- ・保護者が求めるニーズに対応したきめ細かい保育サービスの充実

「ふりかえって」

今回はじめて、ワークショップ方式を取り入れました。

社会人ではなく、学生さんの貴重な意見をお聞きしました。

今後、市政に活かしていきたいと考えます。

## 意見交換会報告書

意見交換会の議題	若者にとって魅力的なまちとは
意見交換会の相手先 (団体名等)	中央大学学生
参加人数	21名
開催日時	平成30年2月6日(火) 午前10時00分～午後0時00分
開催場所	文化創造拠点シリウス
担当議員	座長：古谷田力 小倉隆夫 記録者：石田裕 佐藤大地 渡辺伸明 出席者：中村一夫 山田己智恵
要点等	別紙のとおり (厚生常任委員会と合同開催)

大和市議会議長様

平成30年5月1日

大和市議会意見交換会実施要領第8条の規定により提出します。

意見交換会座長 古谷田力

## 文教市民経済常任委員会 意見交換会報告

1. 日時	平成 30 年 2 月 6 日 (火) 午前 10 時～12 時
2. 場所	文化創造拠点シリウス 2階
3. 相手	中央大学学生
4. テーマ	若者にとって魅力的なまちとは

### I. 施設見学

- ・中央大学の学生たちを案内してシリウス内を見学

### II. 意見交換

#### < Aグループ >

・「若者にとって魅力的なまちとは」をテーマに中央大学の学生と文教市民経済常任委員会の委員とで、30分程度自由に意見交換を行った。出された意見などを模造紙に貼り、最後に意見内容を分類整理して、その結果をもとに中央大学の学生が発表を行った。

- ・発表内容は以下のとおり

#### 1. 魅力的なまちの要素

- ・魅力的なまちの要素は、若者にとっては、「住みやすいまち」「遊びたいまち」に集約される。さらに「若者の声を届けられるまち」も重要との意見があった。

#### 2. 要素ごとの内容

##### (1) 住みやすいまち

##### ① 利便性

- ・卒業して一人暮らしができるまち
- ・買い物が便利、外食が手軽にできる
- ・交通の便が良い
- ・職場へのアクセスが良い
- ・治安が良い

##### ② 経済性

- ・奨学金補助、家賃補助、医療費補助などを受けられるまち
- ・経済的支援は嬉しい
- ・塾講師など学生にとってアルバイトがしやすい

##### ③ その他

- ・出会い、交流がある
- ・マチコン

##### (2) 遊びたいまち

- ・目的となるスポットがある
- ・遊び場、遊園地がある
- ・魅力的なショッピングモールがある

⇒しかし、この「遊びたいまち」に関しては、横浜、町田などとの競争となり、現状で大和市に競争力があるか疑問との声があった。いずれにせよ大和市においては、プラスアルファとなる魅力スポットが必要ということになった。

(3) 若者の声を届ける

- ・若者が政治参加をしやすいまち（選挙の投票率を高くする工夫）
- ・投票所は学校が多いので、投票所の学校の教室を開放して同窓会を開催
- ・政治に関心を持ってもらうための中学校への出張授業

< Bグループ >

1. 若者にとって魅力的なまちの要素を5つに分類

①行ってみたいまち

- ・シンボルがあるまち
- ・鎌倉のようなオシャレなまち

②住みたいまち

- ・アクセスがよいまち

③若者が活躍できるまち

- ・若い人の話を聞いてくれる。発信できるまち
- ・土日など仕事外で活躍できる居場所がある
- ・消防団や自治会に入る

④若者が抱える課題

- ・どうしても職場が都市部に引っ張られてしまう

⑤若者に必要な環境とは

- ・経済的、地域的な安心感

Ⅲ. 総括

- ・学生は積極的に考えを出していました。
- ・学生の意見の中で面白かったアイデアとしては、投票所である学校を利用した同窓会です。なかなか思いつかないアイデアで、新鮮に感じました。
- ・発表は、学生に行ってもらいましたが、落ち着いてきちんと論点を明確にして話していました。若くてもしっかりしていました。
- ・今後は、市内中学生や高校生などとの意見交換会も開催すると面白いのではないかと感じました。